

国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所
島田出張所 皆様 様

前略

突然の手紙で失礼します。

私は、静岡市在住の杉村和高と言います。河川の上流と中流の土砂流下について長年観察と研究を続けて来たアマチュアの研究者で、これまでの研究成果を「河川上流中流の土砂流下と堆積の規則性を考える」として、WEB上で公開しています。<https://keiryuu.sakura.ne.jp/index.html>

私は、時々大井川を通過する事があるのですが、ほとんどの場合でバイパスを利用しています。そして、いつも、バイパス直下の左岸の岸辺を注目しています。

それは、もう何年も前に、それまでほとんど自然状態に近い岸辺の木々を伐採して、低い高さのコンクリート護岸を設置したからです。その後、その場所には巨大なコンクリートブロックが設置されたり、改めて護岸を作り替えたり、最近では、流れを弱くするための越流提らしき構造を建設しているようです。でも、現在の試みも失敗する可能性が大きいのです。もちろん、それらの場所は本来の堤防のずっと水流側にあり、規模が大きな増水があったとしても本来の堤防に直ちに大きな影響を与える事は無いでしょう。

しかし、何故、頻繁にそれらを作り替えてきたのでしょうか。大井川は皆さんの箱庭ではありません。それらの工事には皆さん一人一人が納めている金額よりもずっと多額の税金が使われています。私はその事が気になって仕方が無いのです。

私は、工事の必要性が頻繁に生じている状況を解決するための新たな方法を提案します。コンクリート護岸の岸辺に発生する「洗掘」は自然界の必然です。その事を理解しない限り、際限のない工事を続けるしかありません。私が提案している「石や岩による自然の土砂堆積を利用する洗掘防止工法」では、洗掘の発生の必然性を明らかにして、その洗掘に対応するために石や岩による自然の土砂堆積を利用しています。ですから、皆さんが試みている幾つもの方法よりずっと長い期間その機能を発揮し続けると考えています。

コンクリート護岸による河川の荒廃は島田地区だけに限りません。大井川のさらに上流でも下流側でも至る所コンクリート護岸だらけで、水流が本来の姿を見せている場所はほとんど無いと言って良いくらいです。水流が片側

の岸辺に或いは両側の岸辺にのみ偏るのが普通で、場所によっては河川の中央に木々が成長しています。それらが自然環境の悪化であり、同時に治水状況の悪化でもある事は皆さんがよく承知している事でしょう。

新たな工事方法はWEB上で公開していますのでそれらをご覧ください。
「石や岩による自然の土砂堆積を利用する洗掘防止工法」

<https://keiryuu.sakura.ne.jp/Keiryuu01/koujihouhou/Koujihouhou08.html>

是非それらを参考にして、新たな方法を試みて頂きたいと願っています。

以下はもう一つの提案で、大井川上流の千頭地区の護岸に関する問題とその解決方法についてです。もし、皆様が千頭地区の担当でないのならば、その旨をお知らせ下さい。担当している皆さんに改めてご連絡を差し上げるつもりです。

この問題については、ここで詳細を説明するよりも、WEB上の記述と写真をご覧いただいた方が良く理解できると思いますので、そのURLを記載します。また、是非、現地も観察して下さい。日本中探してもめったに見る事が出来ない貴重な地形状況であると思います。

> 河川上流中流の土砂流下と堆積の規則性を考える

> 河川上流中流の現状とその回復

> (A) 「コンクリート護岸」の現状とその改善の実際（ポイント5）

<https://keiryuu.sakura.ne.jp/Gennjyou/Gennjyou0101.html>

以上、一方的なお知らせに終始して申し訳ありません。出来れば、皆様にお会いして、様々な問題点について直接に説明等をしたいと考えています。ご希望されるようでしたら、是非、お知らせください。

敬具

2022年4月26日

420-0884 静岡市葵区大岩本町 25-37 フローラル城北C-201

杉村和高